

# 次世代の「働き」「学び」「暮らし」の 社会実験のチャレンジを募集

## 長野県休眠預金活用コンソーシアム



誰もが活躍できる信州「働き」「学び」「暮らし」づくり事業  
～ ウイズコロナ・アフターコロナ時代の次世代の社会実験に挑戦 ～

問い合わせ・相談窓口

公益財団法人長野県みらい基金 松本事務所

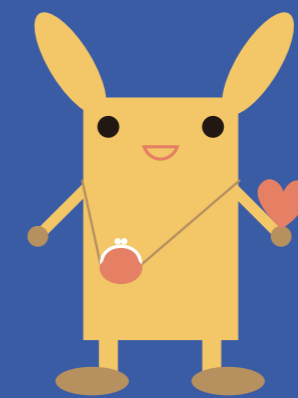
TEL：0263-50-5535

[電話受付] 平日9:00～17:00

MAIL：kyumin-nagano2021@mirai-kikin.or.jp

WEB：https://www.mirai-kikin.or.jp/

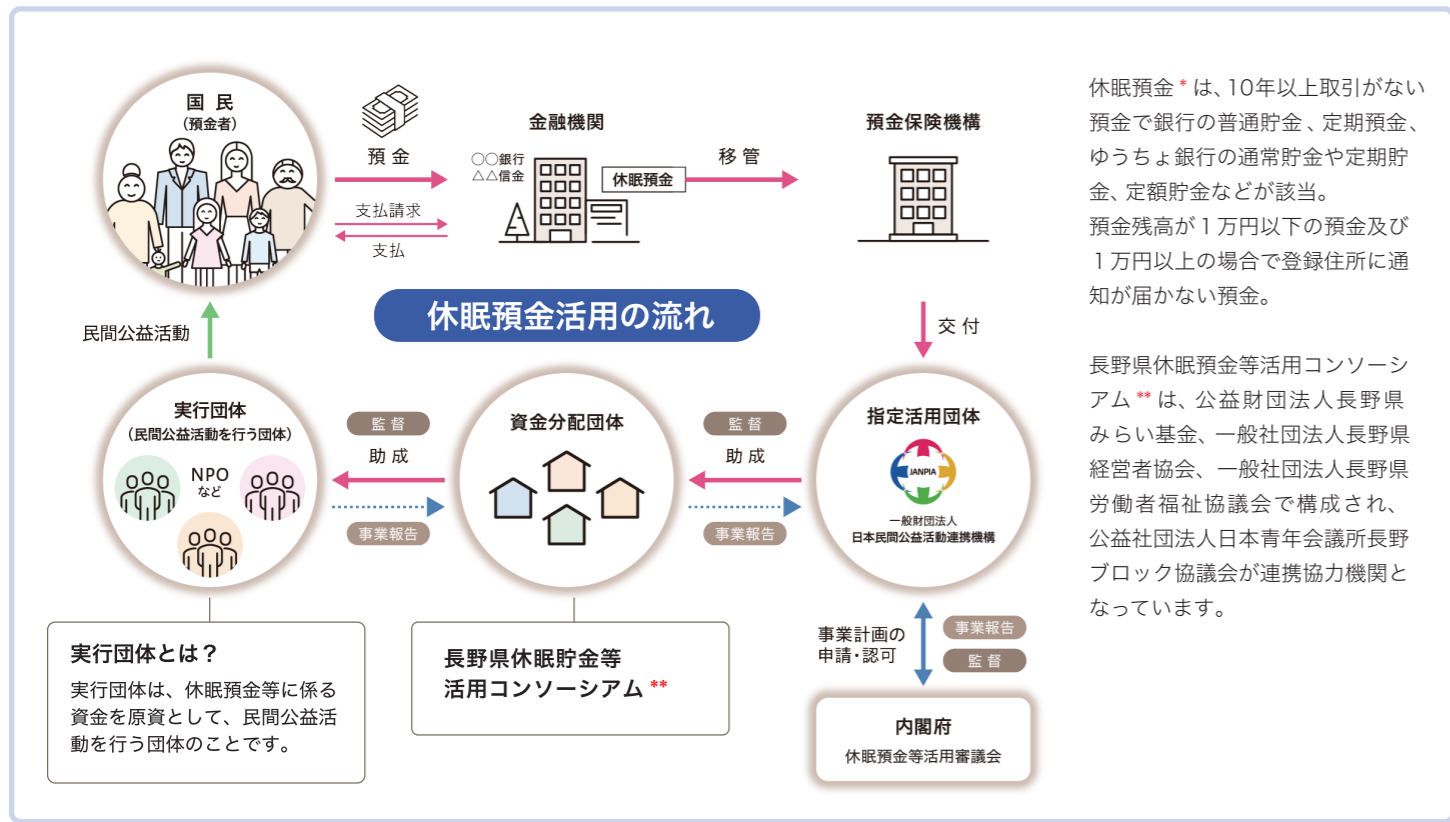
〒390-0852 松本市島立1020 松本合同庁舎 2階



公益財団法人長野県みらい基金  
一般社団法人長野県経営者協会  
一般社団法人長野県労働者福祉協議会

# 休眠預金の活用とは？

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（以下、休眠預金等活用法）に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金\*を民間公益活動の促進のために活用する制度が2019年度から始まりました。



休眠預金\*は、10年以上取引がない預金で銀行の普通貯金、定期預金、ゆうちょ銀行の通常貯金や定期貯金、定額貯金などが該当。預金残高が1万円以下の預金及び1万円以上の場合で登録住所に通知が届かない預金。

長野県休眠預金等活用コンソーシアム\*\*は、公益財団法人長野県みらい基金、一般社団法人長野県経営者協会、一般社団法人長野県労働者福祉協議会で構成され、公益社団法人日本青年会議所長野ブロック協議会が連携協力機関となっています。

## 実行団体に期待される役割

1. 行政の縦割りに「横串」を刺す、あるいは公的制度のいわゆる「狭間」に位置している具体的な社会の諸課題を抽出し、可視化する。
2. 成果に着目しつつ休眠預金等に係る資金を効果的・効率的に活用し、社会の諸課題の解決に向けた取組を推進する。
3. 民間の創意・工夫を十分に活かし、複雑化・高度化した社会の諸課題を解決するための革新的な手法を開発し、実践する。
4. 自ら行う民間公益活動の成果に係る評価を実施し、その評価を元に民間公益活動の見直しや人材配置等の見直しを行う。
5. 現場のニーズや提案、事業成果等を資金分配団体を通じて（一財）日本民間公益活動連携機構（JANPIA：休眠預金の資金分配団体に対する助成等を行う団体）にフィードバックすることにより、本制度の一層の改善につなげる。

## 選定事業の詳細

事業名：誰もが活躍できる信州「働き」「学び」「暮らし」づくり事業	
助成事業項目：イノベーション企画支援事業（JANPIAが定めた資金分配団体公募区分による）	
事業実施地域：長野県	募集実行団体：5～6団体程度
事業実施期間：2022年度～2024年度	1団体あたりの助成額：1000万円前後×3年間
対象となる団体：コンソーシアム（経済団体、労働組合、企業、NPO法人、一般社団法人、大学、金融機関等複数主体によって構成される団体）	

### 事業による成果目標

- 【中長期目標】** 長野県では、誰もが楽しく暮らせる、働ける、学べる地域社会になる
- 【短期成果目標】**
- ・生活や仕事などで困難を抱えている者、障がい者等のスキルアップ・多様な働き方支援
  - ・女性の夢、生きがいを実現できる女性の社会参加、活躍支援
  - ・一人多役（1人が複数の仕事を行う）など地域のSDGsを実現する多様な働き方支援
  - ・企業ニーズと労働者の欲求に対応するスキルアップ&マッチング
  - ・新型コロナウイルスへの対応や地域活性化等を担う地域企業の後継、再生支援
  - ・地域資源を活用した社会的企業の立ち上げ・伴走支援

# 実行団体に求められる事業の姿

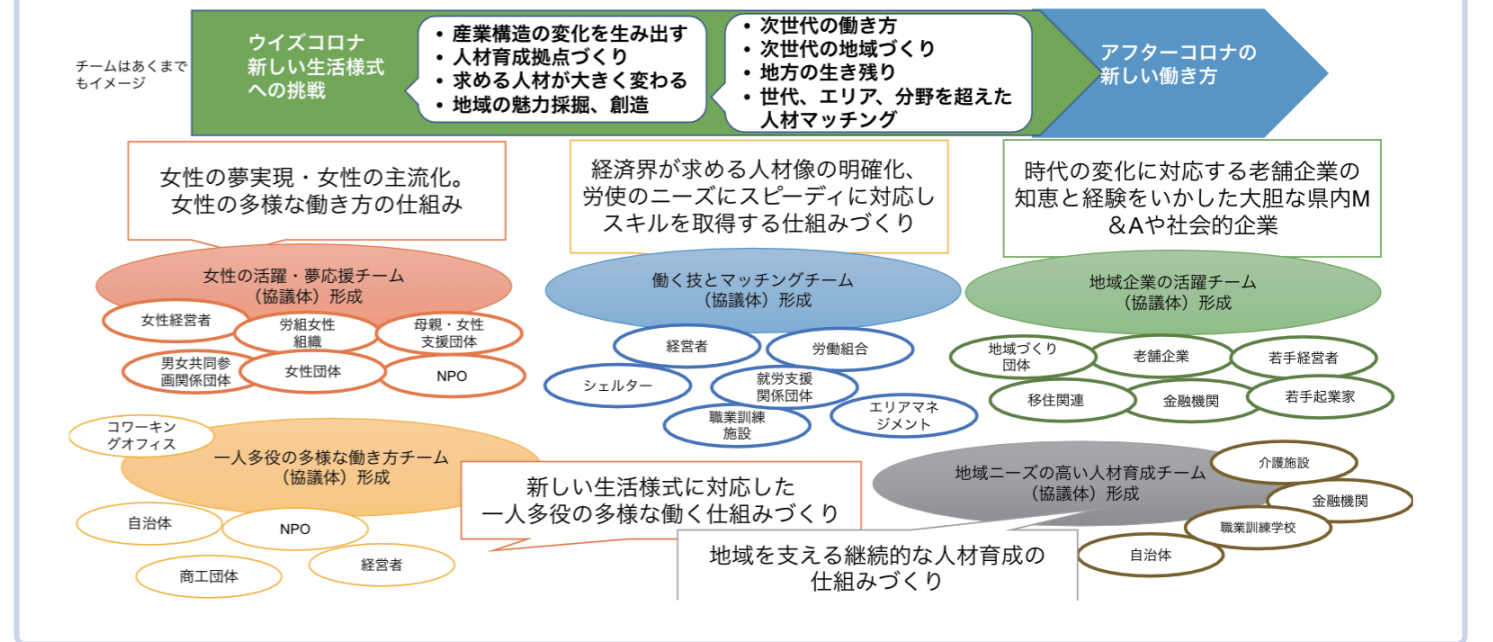
課題解決のモデル = 地域資源（文化・産業）× 主体（地域）× 出口戦略（継続）

- ・運動体、事業主体として責任と能力を有する組織が核となり、多様な企業、団体等の参画と協働によるコンソーシアムで事業を企画、試行をしながら社会的なインパクト（他機関の連携・協働による相乗的な効果）を生む成果志向の事業を実施。
- ・テーマは 次世代の「働き」「学び」「暮らし」
  - 重点ターゲット：女性、若者、困難を有する者
  - 重点分野：地域企業、働く技、起業
- ・地域の多様な関係者を巻き込みながら3年後の社会的インパクト、起業支援、提言、発展、展開、事業継続を目指す事業体となる。（初期投資、運営資金、人材育成、継続準備の仕組みづくりも含む）

## イノベーション企画事業が求めるもの

- ・地域横断のテーマ（地域社会の根本課題）に対し、従来の枠を超えた革新的な手法の開発、社会実験、普及・実装に挑戦することにより大きな社会変革（ソーシャルイノベーション）の創出、新しい仕組みを構築するもの
- ・分野や企業、NPO、自治体等の枠を超えた集成的なアプローチ（関係主体の連携、協働により大きな効果を生み出す取組）新しい発想による資金支援のスキームなど、既存の解決手法を打ち破る革新的で有効な手法による事業の創出
- ・社会課題の解決に民間の創意工夫、英知を最大限活かし、従来の枠を超えた、あるいは従来なかったような事業

## 事業イメージ



## 実行団体公募スケジュール



公募についての詳細は長野県みらい基金ウェブサイトをご参照ください  
<https://www.mirai-kikin.or.jp/kyumin-yokin/>



長野県みらいベース